

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会
平成 27 年度 第 3 回教育研修委員会 議事要旨

日 時：平成 27 年 10 月 22 日(木) 午前 7 時 30 分～8 時 30 分

場 所：ANA クラウンプラザホテル富山 4 階 千鳥1・2

出席者：竹下 克志、大川 淳、矢吹 省司、伊藤 康夫、星地 亜都司、高相 晶士、村上 英樹、
米 和徳(アドバイザー)、西良 浩一(オブザーバー)

コングレ：恩田 南、黄 智絵

欠席者：宮腰 尚久、松山 幸弘、内田 研造、出沢 明(アドバイザー) (敬称略)

1. 決定事項

(1)各コース 講師案・講義名案

・各コースの講師案については下記にて承認された。

コース マネージ：村上 英樹 先生

・講義 1：上井 浩(日本大学医学部附属板橋病院 整形外科 外来医長)

・講義 2：角谷 賢一郎(神戸大学医学部 整形外科 助教)

・講義 3：杉田 守礼(都立駒込病院 整形外科)

・講義 4：篠原 光(東京慈恵会医科大学附属第三病院 整形外科)

・講義 5：村上 英樹(金沢大学 整形外科学 准教授)

・医療安全単位は角谷先生の講義 2 とする。

・ランチセッションは講義 2 とする。

・日整会の 1 日あたりの上限単位が 4 単位とのこともあり、5 講義から 4 講義に減らすことが可能か、前回よりの検討事項であった。大川委員長より、4 講義に減らすことは可能との報告があったが、1 コースについては、手術症例 50 例置換の対象となるため、講義数は減らさず、現行の 5 講義のまま進めることが承認された。

コース マネージ：宮腰 尚久 先生

・宮腰先生ご欠席のため、講師案についてはメール審議にて決定とする。

(メール審議対象内容)

・講義 1：坂井 宏旭(総合せき損センター 整形外科 部長)

・講義 2：湯川 泰紹(中部労災病院 整形外科 部長)

・講義 3：金山 雅弘(函館中央病院 診療部長兼脊椎センター長)

・講義 4：石河 紀之(秋田赤十字病院 整形外科 部長)

松永 俊樹(秋田大学医学部 リハビリテーション科 准教授)

メール審議にて承認 (10/28)

・医療安全単位は石河先生、松永先生の講義 4 とする。

・ランチセッションは講義 2 とする。

コース マネージ：西良 浩一 先生

・講義 1：山田 宏(和歌山医科大学)

・講義 2：中西 一夫(川崎医科大学)

・講義 3：中川 幸洋(和歌山医科大学)

・講義 4：西良 浩一(徳島大学 運動機能外科学 教授)

- ・講義 5: 吉兼 浩一(北九州医療センター)
- ・実技講習について、例年と同様の機材提供企業に運営事務局(コングレ)より連絡する。
- ・ランチセッションは講義 3 とする。

(2) 会場使用計画、フロアプラン

- ・運営事務局より、前回のアンケート結果を受け、休憩時間、単位申請時間を設けた会場使用計画が承認された。
- ・運営事務局より、第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会と同会場の幕張メッセ国際会議場でのフロアプランの説明があり、承認された。I コースについては、定員最大 90 名となるが、上回った場合、隣の会場が中継会場となることが説明された。

(3) 年間スケジュール

- ・運営事務局より、今後、各コースマネージより講師に内諾を取っていただき、運営事務局が正式に依頼状を発送することが説明された。また、参加登録促進のため、運営事務局より 2 回に分けて、全国 80 大学医局宛に案内 FAX を出すことが説明された。
- ・参加登録締切後、枠に余裕があれば、HP にて当日受付も可能であることを案内する。

(4) 協賛状況、制作物

- ・大川委員長より、協賛予定を含めると例年通り 200 万以上協賛が集まることが報告された。
- ・誌面広告での協賛希望があり、広告協賛のため、例年コピーとして配布している資料を冊子にしてはどうかとの議論があった。しかし、1 枠 8~10 万の協賛金に対し、印刷費が多くかかってしまうこと、また高相委員より、冊子にすると著作権が発生し、自分の文献であっても引用を示す必要があるとの意見などがあり、例年通りコピーをホチキス止めした簡易的なもので続ける方針となり、広告協賛はなしとなった。

(5) 概算予算

- ・運営事務局より概算予算の説明があり、承認された。
- ・I コースについて、定員 90 名を上回った場合、中継費用として約 32 万かかってしまい、110 人以上の応募がない限り赤字となるが、これまでの研修コースでは黒字を出してきた実績もあり、多少の赤字に関しては許容範囲とする方針となった。

(6) クリニカルフェロー

- ・竹下担当理事より、10 月末の締切に対し、現在のところ 48 施設中 3 施設のみの申込みであることが報告された。対策として、今年いっぱいの締切に延長すること、48 施設には延長の案内をすることで承認された。
- ・クリニカルフェローを受け入れている場合でも、学会の制度を通さないで行っているケースが見受けられるので、学会の実績を残すためにも、事後報告でも良いので学会の制度を使ったということにした方が良いのでは、という議論がされた。

2. 次回委員会日程

- ・次回の平成 28 年度第 1 回教育研修委員会は、第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 3 日目の 4 月 16 日(土) 朝、幕張メッセ国際会議場での開催とする。

3. 理事会からの報告事項

- ・委員会にて決定した上記研修コースの件が承認された。
- ・田口副理事長より、講師選定において西日本の講師が少ない傾向にあるとの指摘があり、来年度以降は講師の地域差にも配慮をする。
- ・クリニカルフェローの施設応募延長の件が承認された。

以上